

六葉会 会報

Vol. 21



akira.S



関東学院六浦中学校・高等学校同窓会

<http://www.rokuyoukai.com>



関東学院創立125周年記念事業 新2号館完成



CONTENTS

会長挨拶	永野 肇	1
校長挨拶	落越 道彦	2
ホームカミングデーのご案内		3
座談会	六葉会の未来を語る！	4
私の趣味	居合道に挑戦する！	7
OBインタビュー		
プロウィンドサーファー	小菅 寧子	8
卒業生・経済人紹介	成功の秘訣を探る！	
	岩崎次郎／岩崎聖秀／岩室智章	10
コンサート開催のお知らせ		12
関東学院創立125周年記念音楽祭		
関東学院創立125周年記念祝祭コンサート		
横地康子（ソプラノ）リサイタル		
親睦ゴルフレポート		14
クラブ活動結果報告		15
決算・予算報告		16
計報・同窓会お知らせ・編集後記		17
関東学院六浦中学校募集要項		18



「卒業後も様々な活動に 御参加下さい。」

六葉会 会長 永野 肇

(8回生)



2009年3月に第57回卒業式が行われ172名が新しく六葉会のメンバーに加わりました。心から歓迎いたします。

関東学院は2009年10月6日で創立125周年を迎えます。また1919年に開校した関東学院中学・高等学校(三春台)が今年の1月27日に90周年を迎えました。

さて、私たちの母校、六浦中学・高等学校は記念事業の一環として行われていた、新校舎(2号館・理科館)が完

成し、すでに使用されており
ます。昨年度の大きな事業の一つが、校舎建設に対する募
金活動でした。多くの卒業生
から募金のご協力をいただき
ました。心から感謝申し上げ
ます。なお、募金活動は今年
度も継続しておりますので、
更なるご協力をお願い申し上
げます。通常の六葉会の活動
は、機関紙・ホームページに
記載されていますのでご覧下
さい。

今後の六葉会の事業を推進
するには、まず同窓生の名簿

を充実させることです。クラ
ス会、同期会、クラブのOB・
OG会などが開催された時、
名簿資料を提供していただ
ければ幸いです。

関東学院には燦葉会(大学)、
香葉会(旧女子短大)、橄欖会
(三春台中高)、たんぼぼの会
(三春台小)、しおん会(六浦小)
の各同窓会からなる合同の組織
があります。学院全体への関
わりを持って活動しています。
様々な活動に一人でも多くの方
が、楽しく参加できる同窓会
であることを願っています。





「新しい教育環境も 機能しています」

校長 落越 道彦

六葉会会員の皆様には、ご健勝のことと拝察申し上げます。また、本校へのご支援を感謝いたします。

学院創立125周年記念事業として実施いたしました2号館建て替えは、昨年12月10日に献堂式を挙行することができました。建設資金のご寄付も含め、六葉会の皆様からの物心両面のお支えがあった賜物と感謝し、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

新2号館は、各部署からの機能移転と平行する形で1月より使用、週6日制に移行しました4月から、本格的使用となりました。準備時間をかけての本格的使用で、混乱もなく十分にその機能を生かすことができています。週6日制なども含めた新たな教育への定着に向けて、環境的にも歩み出しました。

今年も、クラブ活動を始めさまざまなことに精力的に取

り組み活躍している生徒たちがたくさんいます。そのような生徒たちの姿をご覧いただける機会に六浦祭があります。その折には、ぜひご来校下さい。

なお、今年度、夏休みを利用し礼拝堂改修Ⅰ工期分（Ⅱ工期分は来年度夏休みを予定に着手いたしました。

会員の皆様には、これからもご支援下さいますようよろしくお願い申し上げます。



第5回 ホームカミングデー

「お 帰 り な さ い ! 」

2009年3月14日（土）第5回ホームカミングデーが母校礼拝堂で開催されました。今回は23回生～28回生を中心にお招きしましたが、本校の黎明期に学校を卒業された1回生～10回生の皆さんにもご案内を差し上げました。白根新治先生の司式により行われた礼拝が終了した後は、立田たかね先生の指揮で現役の吹奏楽部の生徒たちによる素敵な演奏がプレゼントされました。若さあふれる演奏に出席者の皆さんも楽しんでいただけたようです。

懇親会は大学（人間環境学部）のエテルニテで行われました。来賓を代表して大西義昭先生の乾杯の発声で始まった懇親会は昔話に盛り上

がりました。坂井雅澄先生の指揮により出席者全員で校歌を歌いお開きとなりました。校歌を、作曲者である坂井先生の指揮で歌えるのは感慨深いものがあり、いつまでもお元気でいていただきたいとの感想をもらす卒業生もいらっしゃいました。

前後いたしました。沢山の卒業生と恩師の皆様によって素晴らしいひと時を過ごすことが出来たホームカミングデーですが、暖かく迎えてくださった母校の皆様へ心より感謝して第5回ホームカミングデーのご報告とさせていただきます。

卒業生支援委員会委員長 中嶋弘雅 26回生



坂井先生



大西先生



國近先生



参加された先生方



吹奏楽部による演奏

六葉会の未来を語る！

平成21年7月27日(月)

於：関東学院メディアセンター 808号室
(横浜関内)



長谷川 巧 37回生



今坂 伸二 23回生



鬼嶋 雄三 27回生



横地 康子 32回生



石川 雄治 49回生

あと3年で創立60周年を迎える六葉会。卒業生の数も一万一千人名を超え、卒業生にとっても学校にとっても存在感のある大きな同窓会となりました。そこでこれから六葉会はどうあるべきか考えて行かなければならないという時を迎え、今回、六葉会の将来を担う常任幹事に集まって頂き、忌憚のない意見の座談会を催しました。

長谷川…本日は六葉会の未来を語るという事で、六葉会の中心世代、社会に出られて活躍している方を中心に、お集まり頂きました。六葉会は、大きな活動が3つあり、10月に六浦祭、3月にホームカミングデー、6月に三春台と合同のゴルフコンペを開催しているのですが、なかなか集まりが難しく関わりの機会が少ないので、皆さんに自己紹介を兼ねて、六葉会のあり方を率直にお話頂きたいと思っています。まず、今坂さんからいかがでしょうか。

今坂…私は六葉会の中では、2年前から企画委員会の副委員長として企画のプランを練ったり、広報委員会のお手伝いをしていきます。在学中に在籍していた、サッカー部は以前より応援しておりました。

た。この2年間を通して感じた事は、六葉会というのはOBの会ではあるけれど、在校生の支援金が無くては成り立たない脆弱な会だという事と、その脆弱な資金の中で、一年間の会の運営に終始するだけだという事。一万一千人の会をもっと生かし、3年後を迎える60周年に向けて、運営する側・会員さん側の総意のもと、何か出来ないかなと思います。

長谷川…続きまして、前幹事長という立場で実際に六葉会を運営していた、27回生の鬼嶋さん、お願い出来ますか。

鬼嶋…私はこの10年程、幹事として関わり、幹事長も努めさせて頂きました。今、思う事は次を担う組織を作る人を育てる事だと。誰が幹事長になっても出来るよう、自身では在任中には出来るだけマニュアルを作りました。ホームカミングデーだけではなくゴルフコンペ、野球の応援、全て盛り上げたいと思います。

長谷川…32回生の横地さん、お願いいたします。

横地…私は、4年前から関わっています。娘が中学生だった6年前から、六穂会という保護者をやっていましたが、3年目にホームカミングデーがあり、私

はオペラ歌手でして、そこで校歌を歌わないかというお話があり出演いたしました。そのホームカミングデーで、私の担任だった先生、懐かしい恩師の方々に再会し、お恥ずかしい話ながら、六葉会がそのような活動をされている事をその時、初めて知ったのです。それがきっかけで、今は卒業生支援委員会に所属し、ホームカミングデーのお手伝いをいたしております。私の娘は57回生なのですが、その世代は六葉会自体を知らなく、卒業時に学年幹事を選ぶ時に初めて会の存在を知るとい感じます。六浦祭には六葉会の部屋というのがあり、アルバムを見て先生方の若い頃の写真を見て「懐かしいね」とみんな見てはいるのですが、それと六葉会が結びつかないようです。ですので、在校生にもっとアピール出来な

いかと思います。私が在校生の頃には、学校主催で体操の具志堅さんや、六葉会主催で落語家の桂歌丸さんが来たりという事があったのを未だに私は覚えていてので、そういった事を今の在校生にしてあげられたらなと思います。

長谷川…私の頃は、卒業式の時に会長さんが出ていらしたり、竹中直人さんが講



演してくれたり、最近では課外授業として、同級生の税理士の講演会がありました。最後に、一番若いメンバー、石川君、お願いします。

石川…私は、中高を9年前に卒業し、今は六浦小学校で今年度は3年を担当しています。学校という場所は、仲間を作ったり広げたりする場所だという事すごく感じます。学校の仲間というのは卒業してもずっと大事だなと、子供たちと触れ合う中で思います。会に関わるきっかけは、担任の野村先生から幹事へ誘いを受けたのが始まりです。最初は初めてお会いする方ばかりでしたが、知った方もどんどん増え楽しくなってきました。何しろ六葉会は学年の横の繋がり、先輩、さらにこれから卒業する後輩達との縦の繋がりです。私は中高の時のテニス部で、合宿に先輩方がいらして教えて下さり、自分も卒業したあと教えるに行きました。在校生のうちに六葉会はこんな事をしてくれるんだということ覚えていれば、自身が卒業した後もこんな事をしたいと思うから、例えばスポー

ツ大会、野球・バレーボール等を、六葉会対在校生でやるのはどうでしょうか。先生も参加されると集まりやすいでしょう。また、色々専門の現場のお仕事をされている卒業生を呼び、授業の中で話すのもどうでしょうか。特に高校生に、大学や就職等進路の事を悩む子達にいい繋がりが出て、在校生に六葉会が好印象を与えられるのではないのかなと思います。

鬼崎…六葉会にえられるOBで先生になっていく方がいます。その後ろに一般の先生がいると思うんですね。外から見てる感覚なので、その橋渡しがないと「どうせあれはOB会だから」になるので、そこがうまく行かないかなあと。

横地…私も六穂会から入り、六葉会と意外と重なってる方は多いのに、六穂会との接点がないのは残念だと思います。

今坂…六葉会は、会員数一万一千人だけど会費の納者数は実は3%位なんです。実際には3、4百人の世界で小さくやっているわけです。それを広げるためには、数年かけて計画して実行して行かなきゃいけないでしょうね。そして初めて学校・先生の問題、在校生と先生の距離が縮まっていく。一朝一夕にはならないけど、自然に会費の徴収率が上がっていくと思います。

横地…私は去年から125周年のイベントに向け、4回生から57回生まで男女合わせて40人が毎週土曜日に集まって練習している中、4、5回生等私の親の世代の方々でも、初めてお会いしたときから卒業生同士という事でうち解けて頂きました。今まで知らなかった者同士が共通の坂井先生から教えて頂くという事で集まったのが、貴重なんだと思いました。

石川…一回やって終わってしまうんじ

やなくて、定期的に毎年一年に一度でいいから継続したいですね。六浦祭の時に六葉会の部屋のほかの部屋も用意して、まだ仕事で忙しいくない大学1・2年に運営を任せ、窓口になつて貰うのはどうですか？

長谷川…1、2年生が必ずそういうのに関わ

り、トコロテン状態で繋がっていくっていうのはいいですね。あと、以前は5年に一回発行する名簿は広告料を取っていたので、会報誌にも広告を入れて広告料を取るっていうのも考えています。

鬼崎…この前のゴルフコンペのTシャツ、欲しいっていう人がいたんです。ああいうオリジナルグッズ、売れないかな。

今坂…今後、一万一千人の六葉会のポータルサイトが作れますね。SNSも含めて。あと3年で60周年だけど、そこで大きな予算を組み、仕掛けを継続すればここで話している事が全て可能になりますよ。今、アナログでやる中で、4・500人しか対応出来なかったのが、ポータルサイトなら一万一千人をそっくり包めます。WEB上にページを貼って「見て下さい」という時代から、全員がそれを見られる世界、全員IDを持って入れる時代がすぐそこに来ているんです。大きな予算はかかりますが、ポータルサイ



トを検討して頂ければと思います。

鬼嶋…インターネット上でクレジットカードが使えたら、会費納入の煩わしさもなくなりますね。

今坂…六葉会は誰のために、どの世代をターゲットにやっているんだ、そういう意識がないと若い方が育たず六葉会は継続出来ない。

鬼嶋…ただ現実的に考えると、2、30代の人達が六葉会で活躍出来るかどうかを考えるとなかなか難しいと思う。実際、僕自身も忙しすぎて出来なかった。そのために石川さんがおっしゃったようなアナログ的な事も重要ですね。

今坂…僕が思うポータルサイトは、今までの卒業生は任意だけど、これから卒業する人には自動でメンバーに加入する。そうすると10年で2千人になる10年構想なんです。ホームページは、見てくれるのを待っている状態だけど、ポータルサイトはそうじゃなくて、もっと動かしちゃう。しかし、我々が持つてくる経験や人的ネットワークは会わないとわからないから、アナログ的なそれやらなきやいけない。本来、その二極があるのが



OB会ではないのでしょうか。

横地…卒業時に貰う「六葉の栞」、あれで初めて存在を知ると言うか。ああいうのを在校生、中1の時に渡す等というのは今までした事はあるんですか？

長谷川…ないですね。大体、会長が公の場面に出てくるのも卒業式が初めてですからね。入学式もないですね。

今坂…先生が退職されるときにパーティーをやって、それを率先して六葉会が仕切るのもありかもしれないですね。

長谷川…そうですね。今まで退職された先生っていうのは「されました」って報告はあっても、「しますよ」で、例えば食堂を使って何かをしますから集まりませんか？というお知らせを六葉会からしてもいいですね。で、合同でパーティを開けば、親の世代から孫の世代まで沢山集まります。

横地…そうですね。そこに立ちはだかってくるのが個人情報関係ですね。六穂会も今は学校からの許可が非常に大変です。六穂会は、頑張っているのが、六葉会になるともっとハードルが上がってしまうのですね。

石川…お金の話ですが、普通、珈琲だったら百円払って買います。募金だって何か届けられるから、いい事をした気分になります。でも会費の場合、あの会計報告を見てなかなか実感しにくいと思うんです。在校生にどう役に立っているかがわかりにくい。もっと具体的なイメージがあれば会費の納付率も上がると思えます。在校生が六葉会を知るには、どうするか。一つは、担任の先生も誰だろうっていう中1の時期は、六葉会と言ってもわからないでしょうが、高2ぐらいになったら、前に三浦であったような専門家の方のお話を聞く会、働いている人のナマ

の話は、生徒側から見ても聞きたい話だと思うので、そうして就職等のお手伝いをするという事。もう一つは、さつきもあった退職する先生の在任中にフェアウェルパーティーを催し、会の一部を在校生と一緒に過ごせば（前半は一緒、後半は卒業生だけ等）、繋がる実感がわきます。あと一つは先程の、卒業したばかりの人が主体的に活動出来るようにしていく、この3つが大事だと思います。

長谷川…例えば今年はラグビー部にボールを10個寄付しました、それを必ず会報に載せる等。ちょっと嫌らしいけどボールに六葉会と入れたのをあげる等。またサッカー部の応援もスタンドに「がんばれ！六葉会一同」みたいな横断幕を送れば、子ども達が自然と「六葉」という言葉、OBの先輩が何かにしてくれたんだなって認識するんじゃないのかな。

鬼嶋…野球でもゴルフでも、表に出るような機会があれば六葉会から報奨金等、これはアワードという考え方なのですが、出すのはいかがでしょうか。

今坂…文科系とスポーツ系で半々がいいですね。

長谷川…卒業式の時などに、クラブの代表にOB会長が手渡しすれば、目立ちますよ。こうなったら強引にも幹事会の承認をとらなくてはね。本日は貴重な色々なご意見を頂きましてありがとうございます。これらは、少しずつ色々な形でまとめたものを、改めて幹事会やみなさんにもご報告したいと思えます。ぜひ実行していきたい意見としては、アワードで在校生にアピールしたいし、ポータルサイトも運営していきたいと思っています。これは3年以内に立ち上げたいですね。皆さん、貴重なご意見ありがとうございます。

私の趣味

居合道に挑戦する！

日本武徳院試斬居合道 剣士・師範補佐役

飯島 宗久 36回生

5年前 友人に紹介されたのが世界で活躍する日本武徳院試斬居合道師範・黒澤雄太氏。僕と居合の出会いだった。「刀は相手の懐に入らなくては機能せず武器としては無能。しかし古代からリーダーは魂として刀を腰に携えてきました。なぜ刀と精神は一つとして語られてきたのか。実際に斬ることとわかる」そんな師範に魅力を感じて道場に通うようになりました。



道場では畳表を巻いた仮標を斬るが、基本は自由。7つしかない型を習得することで、心の自由が手に入る半面、心のブレや迷いが太刀筋に反映され、自分の無能さを幾度も突きつけられるほどです。



自分と向き合う機会が少ない現代において、あらゆる感覚を使い、自分をさらけ出すことのできる機会に恵まれたことに感謝しつつ、今後も高みを目指し精進したいと思います。



OBインタビュー

プロウインドサーファー

小菅 寧子さん

Yasuko Kosuge 41回生

●聞き手

六葉会会長

永野 肇

六葉会広報副委員長

長谷川 巧



長谷川 ● 本日は本校の卒業生で北京オリンピックに出場されたプロウインドサーファアの**小菅寧子**さんにウインドサーフィンの魅力、学生時代の思い出、今後の目標などをお聞きしたいと思います。また**小菅**さんの中学1年生当時の担任であった六葉会会長である**永野肇**さんにもインタビューに加わっていただきたいと思います。

◎学校時代の思い出

長谷川 ● お二人がお会いするのは、久しぶりだと思うのですが…。

永野 ● そうですね。でも一目見てすぐ**小菅**さんだと分かりました。全然印象が

変わらないんだもの。

小菅 ● 私のほうを見て先生がすぐ気づいてくれたのでびっくりしました。

長谷川 ● **小菅**さん、中学時代の**永野**先生はどんな先生だったんですか。

小菅 ● 中学1年の時に**永野**先生が担任だったんですが、とても姿勢が良くて丁寧な言葉で話されます。とても優しい先生でした。子供という扱いでなく大人として接してくれたように感じます。ある時、私が窓からボーッと外の景色を眺めていると、どうしたのかなという顔をして、心配そうな表情で私を見ていたんです。そのことが印象に残っていますね。普通だったら怒られるのに。(笑)

永野 ● **小菅**さんは、中・高校とテニス部だったんだよね。

小菅 ● そうなんです。テニス漬けの日でした。当時テニス部の顧問をされていた浮田檀子先生の6年間の指導のおかげで体力が付き俊敏さが養われたかもしれません。

永野 ● スポーツでも小・中・高校と下から育って行って、熱心な指導者やいい仲間恵まれて、関東学院の精神がそなわり、そして大学でグリーンと伸びるんじゃないかな。

Profile

神奈川県葉山町出身。
中学、高校は硬式テニスに没頭
高校時代、インターハイ出場
関東学院大学に入学、ウインドサーフィン部に入学
2007年 ウインドサーフィン・RSX級
全日本選手権優勝
同年、アジア選手権 優勝
2008年 北京オリンピック出場
セーリング競技 RS:X級 女子13位



小菅 ● それは本当に先生のおっしゃるとおりだと思います。関東学院で学んで良かったと思っています。

◎ウインドサーフィンとの出会い

長谷川 ● ウインドサーフィンを始めたきっかけは何ですか。

小菅 ● 大学に入って勧誘されたんです。「君、黒いね」って言われて。マリンスポーツに興味もあったんですが実際に、試乗してみても楽しかったのが理由です。それに父や兄がヨットをやっていたんです。私も小さい時から一緒にレースに出たりしていたので、ウインドサーフィンでも海でレースをする感覚をすぐ覚えられたんです。それで上にいけたんじゃないのかなと思います。

永野 ● オリンピックに出るにはどういう選考があるんですか。

小菅 ● まずナショナルチームに入ることです。女子は3名くらいが選ばれ代表が決まるわけですが、そして国としての参加枠を取らないといけないんですね。オリンピックの2年前の世界選手権から国の枠取りが始まります。

長谷川 ● どの国が強いんですか。

小菅 ● オリンピックでは中国が勝ったんですが、世界選手権とか大きい大会で



気さくでチャームアップな笑顔でインタビューに答えてくれた小菅さん。永野会長とのスナップ

は、スペイン、フランス、イギリスなどヨーロッパが強いですね。陸続きなので彼らは一緒にトレーニングしているんです。スポーツの強化体制が優れているのだと思います。

長谷川 ● 上達の秘訣とか心構えみたいなものは何かありませんか。

小菅 ● オリンピックの事ばかり考えていたら、いきづまってしまい、あまり実力が伸びないのではないですか。時には、波と風と遊び、楽しみながら続けていたのが良かったと思います。自分が楽しみながらやり続けることが大切だと思います。

永野 ● 体力は勿論必要だと思いますけど、レースでは、かけひきや戦術も重要でしょうね。

小菅 ● あらゆるコンディションで競うスポーツですから、体力と冷静な判断力、相手とのかけひき、自然環境の変化を読みとる力が必要です。いいポジションと、いい風をつかむこと。相手がいるのでプランを考え、何より状況判断が求められます。ウインドサーフィンというスポーツは、知識と経験で体力差をカバー出来るんです。

◎ウインドサーフィンの魅力

長谷川 ● ウインドサーフィンの魅力をお聞かせ下さい。

小菅 ● ウインドサーフィンの魅力は、風と波から感じる爽快感がいいですね。ひとことで言うと「気持ちいい」ということです。一人で出来る所も自分に合っています。

永野 ● 何かウインドサーフィンをやっていて想い出に残る出来事とかありますか。

小菅 ● 葉山の沖でイルカに遭遇したんです。一緒にセーリングしました。イルカも興味があつて遊びたいんですね。なかなか離れないんですよ。とても楽しかったです。感動的でした。自然を相手にするスポーツだからこんな素晴らしい経験が出来たんです。

長谷川 ● それは素晴らしい経験ですね。いつも材木座で練習しているんですよ。

小菅 ● はい、鎌倉の材木座でトレーニングしています。ウインドをやりたい人は声をかけてください。

◎新しい目標に向かって
永野 ● 次の目標は、やはりオリンピックですか。

小菅 ● 北京オリンピックが終わる、次の4年後は見えないですね。今は1年ずつ考えてやっていくつもりです。来年のアジア大会出場を目標に頑張っていきたいです。その前に新潟で開かれる国民体育大会での競技が10月1日から5日まで開催されますが、優勝目指して頑張りますので応援宜しくお願いします。

長谷川 ● 将来の夢をお聞かせ下さい。

小菅 ● 後輩の育成をしたいです。自分の経験、知識は誰も持っていないものだから。将来、素晴らしい選手を育ててみ

たいと思います。

長谷川 ● 本日はありがとうございました。皆さん、今後も小菅さんへの応援宜しくお願いします。



北京オリンピックでの思い出のスナップ



小菅さんの右手首にかっこいいウォッチを発見。戦う海の必需品SUUNTOのウォッチ



INTERVIEW

卒業生・経済人紹介 成功の秘訣を探る！

聞き手：六葉会元会長 西岡 義榮

株式会社 大神設備工業
代表取締役社長 岩崎 次郎氏 34回生 (写真中央)

株式会社 湘南衣笠ゴルフ
常務取締役 岩崎 聖秀氏 43回生 (写真右)

株式会社 湘南衣笠ゴルフ
統括マネージャー 岩室 智章氏 40回生 (写真左)

大神グループ
(株) 大神設備工業 (株) 大神管理 (株) 湘南衣笠ゴルフ
(株) 初声ドライブイン (有) 大神住宅土地

—— 本日は本校の卒業生で、横須賀市の衣笠でゴルフ練習場「湘南衣笠ゴルフ」や「大神設備工業」を運営されている二人、岩崎次郎さん、弟の聖秀さん、一緒に仕事をしている岩室智章さんに学生時代の思い出や現在のご様子などをお伺いしました。はじめに岩崎次郎さんのお仕事についてお聞かせください。

岩崎 (次) 私の経営する大神設備工業は、東京、神奈川を中心に10店舗をかまえ、給排水空調総合設備工事、建築・土木工事、水道施設工事、ビル・マンション管理、そして水まわりの24時間トラブルサポートを行っています。社員数は約100人。今年、グループ会社である「湘南衣笠ゴルフ」と共に四十周年を迎えました。

—— グループ会社の5社をまとめるのは大変でしょうね。

岩崎 (次) 私の父が58才で他界した時、跡を継いだ私は26才、弟は高校生でしたので大変でした。この仕事は、社員と職人さんがいい仕事をして、お客様から信頼を得られるわけですから、心ある人を大事にする事が大切だと思っています。

—— 経営の秘訣というものがあつたらお聞かせ下さい。

岩崎 (次) 秘訣とは言えないかもしれませんが、私の尊敬している方から『本業に徹することが最後に勝つ』という教えを頂きました。ここしか人間は見えないんだから、あつちをやればこっちが見えなくなりますよね。だから建築と設備以外はやらないうと、私は決めています。

—— 将来の夢はどんなことですか。

岩崎 (次) 入社した社員には、結婚をして、自分の家を持ち、定年後まで勤めてもらい、長いスパンで社員とつきあいをしていきたいと思っています。社員も同じ家族となれるような環境を作ることが夢です。

—— 趣味をお聞かせ下さい。

岩崎 (次) 趣味はゴルフ、そして自宅が海に近いので海で遊ぶことが好きですね。

—— 六葉会について何か一言ありますか。

岩崎 (次) こんな厳しい世の中ですの、お互いのビジネスやプライベートの情報交換が出来るような、発展できる環境づくりが出来たらと思います。また、恩師の永野肇先生が六葉会の会長をされているので、私も微力ながら協力していきたいと考えています。

—— ありがとうございます。次は弟さんで常務取締役の聖秀さんにお聞きします。この素晴らしい「湘南衣笠ゴルフ」についてお聞かせ下さい。

岩崎 (聖) 1階、2階合わせて11打席ありまして10ヶ所に目標グリーンを設置しています。ネット目標的まで230ヤードあります。また天然芝で、アプローチに適したフィールドです。とても低価格でご奉仕をさせて頂いておりますので、卒業生の皆さんにもお気軽にお越し頂けたら嬉しいですね。

—— 学生時代の思い出は何かありますか。



生徒にレッスン中の岩室プロ <湘南衣笠ゴルフにて> 7月27日撮影

岩崎（聖） サッカー部に入り、熱中していました。私は事情があり高校を卒業しなかったのですが、関東学院の仲間とは、今でも学年を超えて幅広いおつきあいをさせて頂いています。同じ想い出を共有しているの

で会えば盛り上がりそうですね。

——将来の夢は何ですか？

岩崎（聖） 今の仕事を一生懸命した上で、将来、60才以降は、世の中に貢献できるような仕事が出来たらと考えています。

——趣味は何ですか？

岩崎（聖） 勿論ゴルフです。あとは、草野球です。それも関東学院の仲間中心で、月に2回位やっています。

——六葉会について何かありますか？

岩崎（聖） ご縁を大切にしたいと思っています。関東学院は年代に関係なく絆が強いと感じています。少しでも何か貢献できるように頑張りたいと

思っています。

——ありがとうございます。次は岩室さんにお伺いします。「湘南衣笠ゴルフ」のマネージャーであり、プロゴルファーですね。

岩室 はい、私は日本ゴルフ協会の会員であり、ティーチングプロとしてレッスンを行っています。ここでは、初心者から上級者まで個人のレベルに合わせレッスン出来るんです。またジュニアスクールもあり、小学生でもレッスンが受けられます。

——学校の想い出をお聞かせ下さい。

岩室 担任の先生は英語の国津先生でしたが、勉強はしなかったです。先生にはかわいがってもらったんですが、もっと勉強しておけば良かったという後悔の思いがあります。

でも今、関東学院の生涯学習センターの公開講座で中・高・大学のゴルフ講座の先生という教える立場なんです。情熱をもって母校の生徒に教えているんです。

——将来の夢をお聞かせ下さい。

岩室 この「湘南衣笠ゴルフ」を日本一のゴルフ練習場にしたいと思っています。そしてゴルフをもっとサッカーや野球のように身近なスポーツにしたいです。ゴルフというスポーツを宣伝できる場があれば出ていってゴルフの楽しさを伝えたいと思っています。

——六葉会について何かありますか？

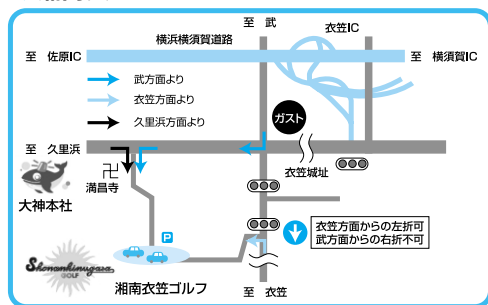
岩室 六葉会を通しての、OBのゴルフコンペは私の活躍できる場であり、いろんなご縁が出来て本当に楽しいです。

——ありがとうございます。最後に一言お願いします。

岩崎（次） 私たち大神グループは、地域の方々に感謝の気持ちとして、スポーツを通じて地域貢献をしています。ゴルフでは、毎年、記念コンペを開催。今年は「湘南衣笠開場40周年記念コンペ」を10月5日に行います。参加費の一部を地元の養護施設に寄付しています。また湘南シールックス（ベイスターズのファームチーム）とタイアップして年間シートを社会福祉協議会に運営委託し、身障者の方や少年野球に利用してもらっています。また夏休みに小学生を試合に招待しています。

——本日は、貴重なお話をありがとうございました。三人の素敵な社会人をご紹介させて頂きました。また次回もご期待下さい。

▼湘南衣笠ゴルフMAP



株式会社 湘南衣笠ゴルフ 横須賀市大矢部1-3-6
TEL.046-836-0378 <http://www.sk-golf.co.jp/>
株式会社 大神設備工業 横須賀市大矢部2-9-20
TEL.046-835-1882 <http://www.daijin.co.jp>

記念音楽祭（燦葉会主催）

六浦中・高グリーンクラブ出身者が出演する3つのコンサートが今秋から来年早春にかけて開催されます。開催順にお知らせしますので、ご来場よろしくお願いします。

・祝祭コンサート（学校法人主催）開催のお知らせ

■ 関東学院創立125周年記念祝祭コンサート

日時 2009年10月7日（水）

開場 18時20分 開演19時00分

（17時00分から、招待者受付にてチケットをお渡しいたします。）

会場 横浜みなとみらいホール 大ホール

学院創立125周年を記念した祝祭コンサートが、10月7日みなとみらいホール大ホールで行われます。昨年は、祝祭コンサートのプレコンサートとして、同ホールで実施し、ご来場くださった多くの方々から素晴らしいコンサートだったとお褒めをいただきました。

この2年連続の祝祭コンサートのために、関東学院に連なる方々による「関東学院創立125周年記念祝祭合唱団」が結成されました。今年は本番の年と言うこともあり、団員数は180人に達し、4グループに分かれて毎週土曜日に練習を重ねています。

管弦楽は、昨年同様、フルート奏者の金昌国さんを中心に、多方面で活躍する音楽家によって結成されたアンサンブル of トウキョウです。昨年のコンサートで聴衆のみなさまを魅了し、今年もすでに期待の声が多く聞かれます。



● 関東学院創立125周年記念音楽祭
全関東学院同窓会後援（主催大学燦葉会）によるコンサートが9月22日（火祝）14時より神奈川県民ホールにて、2部構成で開催される。1部はOB・OG・現役生5つのグループによるステージ。その内の一つ、関東学院大学グリーンクラブOB合唱団コーラ・オリヴァに中高グリーン出身者3名が出演する。2部は大学OBの「寺内タケシとブルージーンズ」。

● 問い合わせ 六葉会事務局まで



□プログラム

L.v.ベートーヴェン

～序曲レオノーレ第3番

F.メンデルスゾーン

～ヴァイオリン協奏曲 ホ短調作品64

W.A.モーツァルト

～オペラ「フィガロの結婚」「テイトの慈悲」よりアリア「恋の悩みを知る君は」他2曲

W.A.モーツァルト

～荘厳ミサ KV337

ぜひ、ご来場ください。チケット販売中です。詳細は左記までお問合わせください。

● お問合わせ 創立125周年記念事業推進室

☎ 045-786-7036



学院創立125周年記念祝祭コンサート練習風景

■横地康子（ソプラノ）リサイタル

32回生のグリーククラブでも活躍していたソプラノ歌手の横地康子（旧姓 吉田）さんの初のリサイタルが2010年1月9日（土）逗子文化プラザなぎさホールにて開催される。

横地さんは六浦中高を卒業後、昭和音楽大学へ進み、声楽を砂原美智子・持木文子両氏に師事しオペラなどで活躍してきた。今年の祝祭コンサートの合唱団では坂井先生の元でリーダーとして活躍中。

リサイタル第1部では、日本とイタリアの歌曲とオペラ・アリア独唱。14回生でアルトの小池啓子（旧姓 澤野）さんとの二重唱がある。

第2部では坂井先生指揮の125周年記念祝祭合唱団有志の演奏でモーツァルトの「莊嚴ミサK337」を演奏するが、この合唱団には六浦中高卒業生4回生から57回生まで25人が参加している。男声は大学グリーククラブOB約30名。ソリストは横地さん、小池さん、大学グリーククラブOBから田辺さん、柚木さんが務める。開演は14時。

125周年記念祝祭合唱及び横地康子リサイタル出演者（卒業生のみ）

坂井 暁子（鈴木）	4回生	赤澤 麗子（矢澤）	11回生
飯島 幸子（津田）	5回生	小池 啓子（澤野）	14回生
田村 立子（小野）	5回生	入江 久枝（野本）	15回生
加藤 武	6回生	丸山 典子（大野）	19回生
永嶋 孝彦	6回生	奥山 郁子（辻村）	25回生
野村 寛子（及川）	6回生	菊島 裕子（豊間）	26回生
別府 重子（鈴木）	6回生	杉山 まり（村本）	28回生
鈴木 紀子（松本）	6回生	横地 康子（吉田）	32回生
吉川 和子	9回生	菅沼 晃子（菅野）	34回生
岩野由美子（鈴木）	9回生	奥山 愛子（奥久）	38回生
木下 静枝（斉藤）	10回生	溝田裕美子	40回生
片山 敦子（村田）	10回生	横地 愛	57回生
黒柳 秀子	11回生		

●チケットはなぎさホール

（☎046-870-6622）

又は横地（☎045-372-5003）、加藤（☎090-6343-0166）まで。

（6回生 永嶋孝彦 筆）





第2回 関東学院六浦中学校・高等学校卒業生 親睦ゴルフ大会開催される



2008年11月13日(木) 於:キングフィールズゴルフクラブ
(千葉県市原)

第2回関東学院六浦中学校・高等学校卒業生親睦ゴルフ大会は、2008年11月13日(木)、キングフィールズゴルフクラブで行われました。当日は、80数名の卒業生の皆様が参加されました。さらに第4回関東学院三春台・六浦卒業生親睦ゴルフ大会も、2009年6月4日(木)にキングフィールズゴルフクラブで行われました。ゴルフ



ご案内

場経営者の鈴木安永さん(7回生)には数々のご支援をたまわり改めて感謝申し上げます。
いずれも毎年、年一回の開催ですので、奮って御参加頂きますよう幹事一同、お待ちしております。

●第3回 関東学院六浦中学校・高等学校卒業生親睦ゴルフ大会のご案内

主催 六葉会

運営 六葉会企画委員会ゴルフ事務局

日程 2009年11月12日(木)

▼会場 キングフィールズゴルフクラブ

千葉県市原市新巻377番地
電話043(636)6111

奮っての参加をお待ちしています。
参加希望者の方は7回生の武田正雄までお願いいたします。

●第5回 関東学院三春台校・六浦校卒業生親睦ゴルフ大会のご案内

会費 両開催とも二〇、〇〇〇円

お一人様でも参加できます。(パーティ代・昼食付)

日程 2010年6月3日(木)

▼会場 キングフィールズゴルフクラブ



●連絡先(両大会とも武田迄)
▼電話 045(321)5345
▼携帯 090(3515)1395
▼ファクス 045(324)0242
■振込先
横浜信用金庫 本店
普通預金 668749
名義
関東学院六葉会ゴルフ
幹事 武田正雄

クラブ活動 (スポーツ・文化) 結果報告

[現役在校生]

高校野球部

第91回全国高校野球選手権神奈川大会

1回戦 シード

2回戦 VS 相模大野高校

於…小田原球場

7対2

3回戦 VS 氷取沢高校

於…藤沢球場

8対5

4回戦 VS 桜丘高校

於…相模原球場

3対13

ベスト32



自転車競技 (県高校総体)

第34回チャレンジロードレース

4月5日 (日)

於…サイクルスポーツセンター

高校3年 木下智裕

●A1J第3位 1時間10分05秒

※このため日本自動車競技連盟ジュニア強化指定選手に選抜された。



吹奏楽部

第58回県吹奏楽コンクール支部大会

於…よこすか芸術劇場

●金賞受賞

※このため第58回県吹奏楽コンクール大会 (8月12日県民ホール) への出場権を獲得

ラグビー 中学

第60回中学校関東大会

6月13日 (土) VS 熊谷吉岡中学

於…熊谷ラグビー場

31対5

6月14日 (日) VS 清真学園中学校

於…熊谷ラグビー場

21対10

●Bブロック優勝

水泳部

平成21年度神奈川県中学校水泳大会

於…横浜国際プール

中学2年 細川一哉

種目 男子400m個人メドレー

タイム 4分49秒04

●順位5位

※このため全国中学校水泳競技大会 (8月21日福岡県立総合プール) への出場権を獲得



2008年度 六葉会 決算報告書

一般会計

▼収入の部

科 目	2008年度予算	2008年度決算	増 減	備 考
56回生会費	2,649,600	2,649,600	0	184名
57回生入会金	344,000	344,000	0	172名
維持会費	1,400,000	916,000	△ 484,000	
卒業生の集い会費	0	0	0	
その他の収入	100,000	135,781	35,781	HCD懇親会費ほか
繰越金	1,000,000	1,000,000	0	
収入合計	5,493,600	5,045,381	△ 448,219	

▼支出の部

運営費	会議費	150,000	224,100	74,100	幹事会・総会
	印刷費	30,000	39,585	9,585	幹事総会往復葉書
	通信費	50,000	42,200	△ 7,800	葉書など
	消耗品費	800,000	865,481	65,481	名簿管理費含む
	交際費	100,000	31,500	△ 68,500	2件
	卒業生支援金	200,000	93,000	△ 107,000	11件
	合同同窓会分担金	66,800	66,800	0	
	活動費	750,000	603,363	△ 146,637	HCD
	雑費	40,000	27,404	△ 12,596	振込手数料
事業費	会報印刷費	1,100,000	1,389,780	289,780	
	会報発送費	800,000	771,120	△ 28,880	再発送費含む
	行事費	50,000	13,801	△ 36,199	六葉会の部屋
	生徒会援助金	150,000	150,000	0	
	積立金	200,000	0	△ 200,000	
	予備費	1,006,800	230,000	△ 776,800	校歌CD制作・生徒会援助金
	合計	5,493,600	4,548,134	△ 945,466	
	次期繰越金		497,247		
	支出合計	5,493,600	5,045,381	△ 448,219	

2009年5月1日現在

●創立125周年記念事業
関東学院オリーブグリーン募金
 (六浦中高校舎建設募金)

途中経過報告
 2009.3現在

<企業・法人／団体／卒業生>
合 計 46,958,000円

皆様方のご協力に感謝し、上記のとおりご報告いたします。今後も何卒よろしくお願い致します。 創立125周年記念事業募金局

計報

お悔やみ申し上げます

(広報委員会調査分)

◆教員

井上和男先生(数学) 平成19年10月
太田芳雄先生(理科) 平成19年1月
二見正男先生(保体) 平成19年2月

◆同窓

大西道子 1回生 平成21年2月
笠井伸一 1回生 平成20年12月
亀井澄夫 1回生 平成21年5月
杉本寛 1回生 平成21年5月
寺沢(米沢)和子 1回生 平成20年6月
半田澄彰 1回生 平成21年5月
福本(虫賀)美美代 1回生 平成20年3月
古沢(鳥居)妙子 1回生 平成20年8月
神子晋康 2回生 平成18年4月
中村巖 2回生 平成18年4月
野口(小林)富江 2回生 平成18年4月
中村宏壽 3回生 平成19年4月
西村健 3回生 平成19年4月
小阪昌生 4回生 平成20年6月
小島二郎 4回生 平成19年11月
深谷健一 4回生 平成20年5月
山口勝英 4回生 平成18年3月
高松孝哉 5回生 平成19年8月
千葉武輝 6回生 平成18年1月
土井観山 6回生 平成16年
河合(菊池)友紀枝 7回生 平成19年3月
杉山(米田)和子 7回生 平成20年9月
堀(小山)薫 7回生 平成18年8月
内山康一 8回生 平成20年4月
大河原(二宮)晶子 8回生 平成20年11月
堀内武人 8回生 平成21年8月
脇本(佐藤)成子 10回生 平成19年6月
泉(座間)祥子 11回生 平成18年12月
益子峯之 11回生 平成19年3月
岩田昭一 12回生 平成19年3月

遠藤美和 12回生
駒井宏 12回生
高塚(島田)和枝 12回生 平成12年9月
竹内俊介 13回生 平成12年9月
清水良融 15回生 平成18年8月
坂本光清 16回生 平成18年8月
関澤平治 16回生 平成18年8月
池亀寛昭 18回生 平成19年9月
清水一美 18回生 平成18年8月
玉虫昇 19回生 平成21年4月
松本由紀夫 19回生 平成21年4月
市村佳男 20回生 平成21年4月
坂巻勉 20回生 平成21年4月
竹内栄信 20回生 平成21年4月
堀越幹晴 24回生 平成19年
稲葉幸子 25回生 平成19年
福島征之 30回生 平成19年
森田(岩丸)千里 30回生 平成21年6月
佐久間満彦 34回生 平成18年8月
三瓶裕史 35回生 平成21年2月
青木謙治 39回生 平成20年7月
精木とも子 44回生 平成18年12月
宮下大 50回生 平成20年12月

26回生(昭和53年卒)

学年同窓会開催のお知らせ

平成22年2月6日(土) 夕方より
詳細は追ってご案内致します。

お問い合わせ

■幹事代表

●岩倉

自宅045-894-8516

携帯090-7828-8772

●萩原

自宅0120-815-926

携帯090-8949-0850

33回生(昭和60年卒)

(卒業25周年記念!)

学年同窓会開催のお知らせ

平成22年6月19日(土)、26日(土)のどちらかを予定。

17時より

場所…イタリアンレストランテ
パバヴィデ(関東六浦OBのお店)
横浜市中区山下町37-8
グローリオタワー1階

045-650-7080

連絡担当…寺嶋健一

090-2208-0191

E-mail terajima@dream.com

◆出欠確認連絡を事前にハガキにてお知らせいたしますので、六葉会登録の連絡先に変更がある方は、連絡をお願いいたします。

六葉会の部屋

10月30日(金)・31日(土)の2日間六浦祭が開催されます。卒業生の部屋として「六葉会の部屋」を今年も設けます。卒業アルバムを全学年揃えて展示しています。現役の生徒にも先生の学生時代の写真を見ることが出来ることあって毎年好評です。是非、足をお運び下さい。

編集後記

会報誌の編集に携わらせて頂くのも今回で6号目になりました。今回はサイズの変更や積極的な取材など、新たな試みをしてみましたが如何だったでしょうか。今後も1万人強の会員の皆様により多くの情報をお届けしたく頑張っておりますので、更なるご協力のほどお願い致します。

長谷川巧(37回生)

2010年度（平成22年度） 関東学院六浦中学校生徒募集要項

		A 日 程		B 日 程		C 日 程	
募集人員		60名(男・女)		40名(男・女)		30名(男・女)	
いずれも本学院六浦小学校からの進学者を含みません。							
出願資格		・2010年3月 小学校卒業見込みの者 ・本校の教育基本方針に賛同する者 (教育基本方針の抜粋は『学校案内』に、全文はホームページに掲載されています。)					
出願期間	1 月	1月9日(土)～1月31日(日) 8:00～15:00 ※1月10日(日)・1月11日(月・祝)・1月17日(日)・1月24日(日)を除く					
	2 月			2月1日(月) 8:00～18:30 2月2日(火) 8:00～14:30		2月1日(月) 8:00～18:30 2月2日(火)～2月4日(木) 8:00～15:00 2月5日(金) 7:30～8:30	
出願書類		入学志願票・受験票(本校指定)					
入学検定料		20,000円(銀行振り込み、1月の出願期間中の土曜日および1月31日、2月中は願書受付窓口でも可)ただし、1月の出願期間中に、2種類または3種類の試験を同時にし出願する場合の検定料の合計は、一律30,000円とします。					
入学試験日		2月1日(月)午前		2月2日(火)午後		2月5日(金)午前	
試験科目 と 時 間		開 場 7:30 集 合 8:15 国 語 8:30～9:15 算 数 9:30～10:15 社 会 10:30～11:15 理 科 11:30～12:15		開 場 13:30 集 合 14:50 国 語 15:00～15:45 算 数 16:00～16:45 社 ・ 理 17:00～17:50		開 場 7:50 集 合 8:50 国 語 9:00～9:45 算 数 10:00～10:45 社 ・ 理 11:00～11:50	
		全日程とも、4教科(国語・算数・社会・理科)					
合格発表表	インターネット表示	2月1日(月) 17:30～ 2月2日(火) 11:00		2月2日(火) 21:00～ 2月3日(水) 11:00		2月5日(金) 16:00～ 2月6日(土) 11:00	
	本校掲示	2月1日(月) 17:30～18:30 2月2日(火) 9:00～11:00		2月3日(水) 8:00～11:00		2月5日(金) 16:00～17:00 2月6日(土) 9:00～11:00	
入学手続		入学手続時納付金 入 学 金 230,000円 特別施設費 200,000円					
		2月1日(月) 17:30～18:30 2月2日(火) 9:00～11:00		2月3日(水) 8:00～11:00		2月5日(金) 16:00～17:00 2月6日(土) 9:00～11:00	
		特別施設費は、2月5日(金)まで延納可能です。 延納納付期間 2月3日(水)、4日(木) 9:00～14:00 2月5日(金) 9:00～11:00					
入学手続時納付金を完納された方で、2月7日(日)15:00までに入学を辞退された場合、特別施設費を返金致します。							

※ 提出された書類、納入された入学検定料・入学金はお返し致しません。

維持会費のご協力のお願い

2009年度の維持会費の納入をお願いしております。六葉会の運営に是非ともご協力下さい。納入は**同封の郵便振込用紙をご利用の上4,000円(手数料別)お振込下さい。**よろしくお願い申し上げます。コンビニエンスストアのATM機からも出来ます。

銀行名: ジャパンネット銀行(銀行コード: 0033) 支店名: 本店営業部(支店番号: 001)

口座番号:4543584 口座名義:関東学院 六葉会(カントウガクイン ロクヨウカイ)